

平成30年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	1	子育て世代への重点支援		
施策の方向性	●結婚・妊娠・出産・育児（未就園児）の切れ目のない支援を行う仕組みづくりを構築し、結婚支援を含めた幅広い子育て支援を行います。 ●配慮を必要とする子育て家庭への支援及び子育てに係る経済的負担の軽減等、子育て家庭を支援します。 ●児童の居場所づくり等、児童健全育成対策の充実を図り、子どもの生きる力を育む環境づくりを行います。			

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	子育てしやすさ	%	目標値		93.0	93.0	93.0	93.0	94.0
			実績値	93.0	97.4	96.8	96.8		
			達成状況		達成	達成	達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

平成30年度は、妊娠期から切れ目のない子育て支援の拠点として、ひろしま版ネウボラ構築事業である「ネウボラふちゅう」を福寿館に開設し、子育て家庭への相談事業が充実したこともあり、目標を達成しました。

・評価及び対応方針

「ネウボラふちゅう」の事業実施に併せて拡充した事業や新規に開始した事業について、しっかり広報をしていくことで、切れ目のない支援の更なる充実を図っていきます。

作成担当部長 福祉保健部長 山西 仁子

4. 今後の展望（評価会議最終評価）

目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、現在の方向性で施策を継続することとします。

## 【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分	No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	1	子育て応援事業	9,484
	2	不妊治療費助成事業	11,432
	3	養育支援訪問事業	193
	4	児童センター事業	41,515
	5	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	63,482
	6	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)整備事業	48,972
	7	ネウボラセンター事業	12,913
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
施策の成果を 維持する事業	1	児童福祉総務一般事務事業(一部)	159
	2	児童虐待防止対策強化事業	584
	3	児童手当等給付事業	966,507
	4	福祉事務所(児童扶養手当給付)事業	166,973
	5	福祉事務所(母子家庭自立支援)事業	12,749
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
合計			1,334,963

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	子育て応援事業	事業番号	131101
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

保護者の急用時等の子育てを地域で相互援助する支援（任せて会員・お願い会員）を行い、仕事等と子育ての両立を図ります。「結婚支援事業」「子育て支援事業」等を行い、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を進めます。ひとり親家庭等の保護者等に対し、小学校又は中学校入学時に、1人あたり5万円の入学祝金を支給します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者の急用時等に一時的にお子さんを預かるファミリーサポートセンター事業を行います。</li> <li>○ 妊娠、産後、0歳児から2歳児のパパママを対象に、ステージ別の講習会を実施します。【地域子育て支援センター2か所（府中ひかり保育園・若竹保育園）で各5回予定】</li> <li>○ 未就学児を抱える子育て家庭へ子育て応援カードを配布し、かかりつけ保育所・幼稚園を設定することで気軽に相談でき、また協賛店による子育て支援も受けられる体制を構築します。</li> <li>○ 乳児全戸訪問時にバスローブを配布します。</li> <li>○ 未婚化及び晩婚化を起因とする少子化に対処するため、結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し補助金を交付します。（1団体、上限10万円）また、新たな出会いの場の創出として、年に2～3回、こいの輪カフェの開催を計画しています。</li> <li>○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝金を支給します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ファミリーサポートセンターにおいて、未就学児201件、小学生8件の支援を実施しました。</li> <li>○ 未就学児を抱える子育て家庭へ、子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（平成30年度未登録者数1,930人）</li> <li>○ 乳児全戸訪問時にバスローブを500着配布しました。</li> <li>○ 結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し、補助金を交付しました。（3団体、各10万円）また、未婚の男女を対象に、婚活イベント（こいのわインカルネリアイルマツト）を開催しました。（男7人、女7人 ×3回）</li> <li>○ ひとり親家庭等の児童に対し、小学校及び中学校入学時に入学祝い金を支給しました。（小学校26件、中学校32件）</li> <li>○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（6台）、幼稚園5園（各2台）】</li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	子育て不安が解消された母親等の割合	%	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	70	100	不明		
			達成状況	達成	達成	不明		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		様々な子育て支援を実施した成果として、子育て不安が解消された母親等の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	12,971	919	1,392	0	75	10,585
決算	9,484	919	919	0	75	7,571

## 6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>ファミリーサポートセンター事業は、未就学児のいる家庭の利用が増加しています。ステージ別講習会は災害の影響で地域子育て支援センターでの実施が困難となったため、実施の拠点を児童センターへ移して行う予定でしたが、実施内容や対象者の選定が難航したため実施に至りませんでした。また、ステージ別講習会のアンケートにて指標を測定していたため、指標を測定することができませんでした。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>平成30年度は災害により実施できませんでしたが、ステージ別講習会を児童センターで行うこととし、広く広報していくほか、その他の事業についても継続実施していきます。</p>											
作成担当課長		子育て支援課長 新見 公平									

## 7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>ファミリーサポートセンター事業は、未就学児のいる家庭の利用が増加しています。ステージ別講習会は災害の影響で地域子育て支援センターでの実施が困難となったため、実施の拠点を児童センターへ移して行う予定でしたが、実施内容や対象者の選定が難航したため実施に至りませんでした。また、ステージ別講習会のアンケートにて指標を測定していたため、指標を測定することができませんでした。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>平成30年度は災害により実施できなかった「ステージ別講習会」を児童センターで行うこととし、広く周知していきます。その他の事業についても、事業効果が図れるように、継続実施していきます。</p>											
作成担当部長		福祉保健部長 山西 仁子									

## 8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標の達成状況は不明ですが、対応方針に沿った改善策を取り入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	不妊治療費助成事業	事業番号	131102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

不妊検査を含めた一般不妊治療及び特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）に要する費用に対し、広島県が行っている一部助成に加え、町独自の助成を行うことにより、対象者の負担軽減を図ります。また、新たに、特定不妊治療を行うための男性不妊治療も助成の対象とします。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の2分の1を助成します。（上限5万円）</li> <li>○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成します。（1回あたり上限15万円または7万5千円）なお、新たに男性不妊治療についても助成の対象とします。</li> <li>○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の2分の1を助成しました。 【実績数】19件</li> <li>○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成しました。 【実績数】97件</li> <li>○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成活用の周知を図りました。</li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	助成件数	件	目標値	83	83	83	83	83
			実績値	61	92	116		
			達成状況	未達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		経済的負担を軽減することで不妊治療を受けやすくするため、助成件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	9,925	0	0	0	0	9,925
決算	11,432	0	0	0	0	11,432

6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>実施事業の周知ができており、目標を達成しました。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>広報、ホームページで引き続き周知を図ります。</p>											
作成担当課長		子育て支援課長 新見 公平									

7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>実施事業の周知ができており、目標を達成しました。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>広報、ホームページで引き続き周知を図ります。</p>											
作成担当部長		福祉保健部長 山西 仁子									

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	養育支援訪問事業	事業番号	131103
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

養育支援が必要と認められた家庭において、適切な育児・家事の援助及び専門的な訪問支援事業を行うことにより、養育者への継続的な支援を確保します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として、出張相談を行います。（月1回程度予定）</li> <li>○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して、相談支援を実施します。（年間60～80回予定）なお、相談支援の結果、必要な場合は家事・育児補助を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として、出張相談を行いました。（児童センター（2か所）、出張相談12回）</li> <li>○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（141回実施）なお、家事・育児補助は3家庭で47回実施しました。</li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	訪問数	件	目標値	150	150	150	150	200
			実績値	66	110	188		
			達成状況	未達成	未達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		支援を必要とする人への着実な訪問支援の定着が目的のため、訪問数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	583	196	196	0	0	191
決算	193	64	64	0	0	65

6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>前年度に比べると着実に訪問数は増加しており、軌道に乗ってきたと言えます。引き続き、目標数に達するよう努めます。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>引き続き、積極的に実施していきます。</p>											
作成担当課長		子育て支援課長 新見 公平									

7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>相談件数は着実に増えており、事業を開始して3年目で少しずつ定着していると考えられます。児童虐待未然防止のためにも、しっかりと継続実施して件数の増加に努めます。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>ネウボラ事業と連携して、訪問相談を充実させ、サポートが必要な家庭へは他の福祉施策につなげていけるようにします。</p>											
作成担当部長		福祉保健部長 山西 仁子									

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	児童センター事業	事業番号	131104
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

子育て支援及び青少年健全育成のため、児童センター「バンビーズ」（府中南交流センター2階）及び児童センター「ハッピーズ」（府中北交流センター2階）において、乳幼児から高校生までを対象に、幅広く事業を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 0歳～18歳の子どもがいつでも気軽に立ち寄れる居場所として、児童センターを運営します。（2か所） 開館時間：午前10時から午後8時まで （正午から午後1時を除く） 休館日：毎月第3月曜日及び年末年始</li> <li>○ 子育て広場やおはなし会など各種イベントを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。 来館者数：府中南交流センター 40,869人 府中北交流センター 58,789人 開館日数：347日</li> <li>○ バンビーズでは、バンバンフェスタと称して児童センターまつりを、ハッピーズでは、ベビーマッサージを実施しました。</li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	利用者数(1日当たり)	人	目標値	120	220	220	220	220
			実績値	126	311	287		
			達成状況	達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		乳幼児親子や子どもの居場所づくりを目的としているため、一日当たり利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	43,159	1,613	1,631	0	0	39,915
決算	41,515	1,666	1,684	0	0	38,165

6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>府中北交流センター内のハッピーズの利用者数が落ち着いた一方、バンビーズの利用者数がわずかながら増えて4万人に回復しており、目標以上の成果が現れています。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>今後、事業計画を含め、事業の精査等を行い、よりよい事業を目指します。</p>											
作成担当課長		子育て支援課長 新見 公平									

7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>府中北交流センター内のハッピーズの利用者数が落ち着いた一方、バンビーズの利用者数がわずかながら増えて4万人に回復しており、目標以上の成果が現れています。しかし、利用者層の偏りもあり、中・高校生の健全・安全な居場所として、利用を増やす工夫も必要です。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>町と指定管理者で実施する毎月の定期協議等において、事業内容の検討、利用者数、利用者層の分析等を双方でしっかりと行い、よりよい事業となるようにしていきます。</p>											
作成担当部長		福祉保健部長 山西 仁子									

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値を達成しています。引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	事業番号	131105
担当部署名	福祉保健部 子育て支援課 教育委員会 社会教育課		
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

就労等の理由で昼間家庭に保護者が不在の児童を対象に、放課後や長期休暇中の生活の場として、放課後児童クラブ（留守家庭児童会）を運営します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時30分から午後6時までの間、適切な遊びや生活の場を提供します。</li> <li>○ 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加します。（5人）</li> <li>○ サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加します。（22人）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時30分から午後6時までの間、適切な遊びや生活の場を提供しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年在籍児童 677人</li> <li>・夏休みのみ在籍児童 113人</li> <li>合計 790人</li> </ul> </li> <li>○ 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加しました。（5人）</li> <li>○ サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加しました。（22人）</li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受入児童数	人	目標値	647	647	647	647	647
			実績値	631	712	790		
			達成状況	未達成	達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		就労等の理由で昼間家庭に保護者が不在の児童に活動場所を提供するため、受入児童数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	68,019	22,673	22,673	0	0	22,673
決算	63,482	22,673	21,160	0	0	19,649

6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>受入れ児童数が年々増加し、今後もさらに児童数の増加が見込まれます。そのため、建物の増設や民間事業者の参入などが必要であるほか、児童数が増加しているにも関わらず、指導員数は増加していないため指導員に負担がかかっていることから、人材（指導員）の確保が急務です。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>手法改善</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>近隣自治体のサービスを把握するとともに、関係部署と連携を図りながら、放課後児童の安全な活動の場を確保する必要があるため、建物の増設及び指導員増加等に伴う予算計上を検討します。</p>											
作成担当課長		社会教育課長 山下 賢二									

7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>児童受入数の増加に伴い、苦慮しながらも対応していることは評価できます。児童数の増加とともに施設の確保・人材の確保が課題です。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>手法改善</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>児童数の増加に対応して、これからの放課後児童クラブの運営方法はどのようにあるべきか、今後検討する必要があります。</p>											
作成担当部長		教育部長 榎並 隆浩									

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	手法改善
方向性を踏まえた今後の展望	目標値は達成していますが、ニーズ調査の結果を踏まえた新規手法も視野に入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)整備事業	事業番号	131106
担当部署名	福祉保健部 子育て支援課 教育委員会 社会教育課		
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

府中南小学校区放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の隣接地（むつみ福祉園跡地）に新たな施設を建築します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 府中南小学校区において、今後、放課後児童クラブを利用する児童数の増加が見込まれるため、既存の放課後児童クラブの隣接地（むつみ福祉園跡地）に新たな施設を建設（増設）します。 （平成30年度末整備完了、平成31年度利用開始予定）	○ 府中南小学校区において、今後、放課後児童クラブを利用する児童数の増加が見込まれるため、既存の放課後児童クラブの隣接地（むつみ福祉園跡地）に新たな施設を建設（増設）し、平成31年4月から利用を開始しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率	%	目標値	-	-	100	-	-
			実績値	-	-	100		
			達成状況	-	-	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		新たな施設を整備することが目的のため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	47,088	30,456	7,614	7,200	0	1,818
決算	48,972	30,456	7,528	8,600	0	2,388

6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>予定どおり、平成31年4月の開所ができました。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業完了</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>今後、保護者ニーズ等を見極めながら、施設の充実について計画していきます。</p>											
<p>作成担当課長 子育て支援課長 新見 公平</p>											

7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>予定どおり、平成31年4月の開所ができ、放課後児童クラブの施設の充実を図ることができました。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>低</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業完了</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了
事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>今後、保護者ニーズ等を見極めながら、施設の充実について計画していきます。</p>											
<p>作成担当部長 福祉保健部長 山西 仁子</p>											

8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業完了
方向性を踏まえた今後の展望	事業の目標を達成したため、事業を完了することとします。

平成30年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	ネウボラセンター事業	事業番号	131107
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1 みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1 子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

「ネウボラふちゅう」として、相談支援の拡充や産前産後ケア等の事業を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のないサポート体制を強化し、子育て家庭の負担の軽減を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福寿館に相談室（3室）を整備します。</li> <li>○ &lt;新規事業&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・9か月健康相談（月1回3か所）を実施します。</li> <li>・産前・産後サポート事業（コールサービス、訪問・来所相談、ヘルパー支援）を実施します。</li> <li>・産後ケア事業（宿泊・デイケア）を実施します。</li> </ul> </li> <li>○ &lt;拡充事業&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回実施している「すこやか赤ちゃん広場」「乳児健康相談・栄養相談」の実施場所を1か所から3か所に拡充します。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福寿館に相談室（3室）とフリースペースを整備しました。</li> <li>○ &lt;新規事業&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中期の妊婦とその家族を対象としたマタニティ教室、9か月児とその家族を対象とした赤ちゃん広場を月1回3ヶ所で開催しました。（11月開始）</li> <li>【参加率】マタニティ教室 46.8%</li> <li>9か月児赤ちゃん広場 80.3%</li> <li>・妊娠中から産後概ね4か月までの妊産婦等を対象とした産前・産後サポート事業（相談支援）を開始しました。また、妊娠中～後期の全妊婦に産前コールを実施しました。（9月開始、産前コールは11月開始）</li> <li>【実績】産前・産後サポート事業 13件</li> <li>産前コール 89件</li> <li>・産後概ね4か月までの産婦を対象に、町が委託した医療機関等で産後ケア事業（宿泊・デイサービス・母乳ケア）を開始しました。（12月開始）</li> <li>【実績】母乳ケア3人（計5回）</li> </ul> </li> <li>○ &lt;拡充事業&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回実施していた「4か月児すこやか赤ちゃん広場」と「乳児健康相談・栄養相談」の実施場所を1か所から3か所に拡充しました。（11月から拡充）</li> </ul> </li> </ul>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	相談件数	人	目標値	-	-	2,905	3,262	3,329
			実績値	-	-	3,020		
			達成状況	-	-	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		母子保健・子育て支援サービスの充実を図ることを目的に、身近な相談支援の場所として、「ネウボラふちゅう」を開設するため、相談件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	15,244	4,721	5,782	0	0	4,741
決算	12,913	4,089	6,514	0	0	2,310

## 6. 評価と対応方針（課長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>相談場所がより身近になり、新規事業も開始したことにより相談件数は増えています。11月から開始した妊娠中期に実施するマタニティ教室は、就労している妊婦が増えていることもあり5割を切る参加率となっておりますが、出産するまでの開催日に参加可能としており、今後上がるものと思われま。妊娠中に実施するマタニティ教室や産前コールにより、悩みを抱える妊婦やその家庭のリスク把握が早い段階からでき、必要な支援や連携機関に早く繋げることで、産後の鬱や児童虐待の未然防止の効果があると考えています。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>新たに開始した事業では、参加率・利用率が低い状況にあります。必要な支援が必要な妊産婦やその家族に届けられるよう、ネウボラの広報活動に力を入れていきます。</p>											
作成担当課長		子育て支援課長 新見 公平									

## 7. 評価と対応方針（部長評価）

<p>・分析</p> <p>（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）</p> <p>「ネウボラふちゅう」の開始により、相談場所がより身近になり、事業の拡充や新規事業の開始により、相談件数は増えています。新規事業はまだ始めたばかりで課題はありますが、悩みを抱える妊婦やその家庭のリスク把握が早い段階からでき、必要な支援や連携機関に早く繋げることで、産後の鬱や児童虐待の未然防止の効果があると考えています。</p>											
<p>・評価</p> <table border="1"> <tr> <td>事業効果</td> <td>高</td> <td>事業改善</td> <td>高</td> <td>今後の方向性</td> <td>事業継続</td> </tr> </table>						事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続
事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	事業継続						
<p>・評価を踏まえた対応方針</p> <p>新規事業については、さらに広く広報し、事業の周知を図っていきます。また、令和元年度は、広島県のモデル事業である「子ども見守り支援サポート事業」を進めることにより、「ネウボラふちゅう」をベースに、さらに、幼児・児童・生徒と切れ目のない支援につなげていけるように取り組んでいきます。</p>											
作成担当部長		福祉保健部長 山西 仁子									

## 8. 今後の展望（評価会議最終評価）

今後の方向性	事業継続
方向性を踏まえた今後の展望	目標値は達成していますが、対応方針に沿った改善策を取り入れながら、引き続き目標値の達成を目指し、事業を継続することとします。